

11月11日は「介護の日」です 介護保険サービス利用までの流れ

介護保険サービスを利用するには要介護（要支援）認定を受けるなど、一定の手続きが必要となります。ご自身や家族に介護が必要になった場合に、介護保険サービスを利用するまでの流れを紹介します。



サービス利用までの流れ

①相談

介護保険のサービスの利用や困りごとは、健康対策課高齢者支援室・伯耆地域包括支援センター（本庁舎）にまずはご相談ください。

②申請

介護保険の対象となるサービスの利用を希望する人は、健康対策課高齢者支援室（本庁舎）窓口で「要介護認定」の申請をします。

※本人や家族のほか、居宅介護支援事業所等に代行してもらう事もできます。

③訪問調査 （認定調査）

申請後、調査員が自宅等を訪問し、心身の状態や日中の生活、住環境等について、本人や家族に聞き取り調査を行います。



④主治医の 意見書

町から主治医に身体や疾病等の状態等について、意見書の作成を依頼します。

⑤審査・ 判定

訪問調査の調査内容と主治医意見書をコンピューターに入力し要介護度の判定を行います（一次判定）。

一次判定と主治医意見書をもとに、「介護認定審査会」による要介護度の判定が行われます（二次判定）。

⑥認定・ 通知

介護認定審査会の判定に基づき、「要支援1・2」「要介護1～5」「非該当」に認定され、その結果を本人に通知します。



⑦ケアプラン の作成

介護保険サービスを利用する場合、ケアプランの作成が必要です。

要支援1・2の人の介護予防ケアプランは、主に「地域包括支援センター」が作成します。

要介護1～5の人は「居宅介護支援事業所」に、ケアプランの作成を依頼します。施設入所を希望される場合は、希望する施設に直接申し込みを行います。

※ケアプラン等の相談、作成に自己負担はありません。



⑧介護サービスの 利用開始

ケアプランに基づいた居宅サービスや施設サービスを利用します。利用者負担は、費用の1割～3割（利用者負担割合に応じた自己負担額）です。



問い合わせ・
申請先

健康対策課 高齢者支援室
（伯耆地域包括支援センター）

0859-68-5535
(0859-68-4632)



▲伯耆町
ホームページ



▲南部箕蚊屋
広域連合